

# ながよ

## 町議会だより

No.142  
平成24年7月18日発行  
長崎県長与町議会



長与の幸せを みつめて

役場前人道橋下付近



ミックン  
(町イメージキャラクター)

### 6月定例会

一般会計補正予算	2
工事請負契約の締結	3
<b>13人が問う</b> 一般質問	5
町民意識調査の結果	20

# 長与駅舎内エレベータ設置など

## 追加補正 6億7,280万円

(総額125億5,946万円)

可決

24年第2回定例会が6月12日から21日まで開かれました。24年度一般会計補正予算(第1号)など6議案が審議され2議案が承認、4議案が可決、1請願が採択されました。

### ○長与駅にエレベータを設置

1750万円

長与駅舎内にバリアフリーの一環でホーム乗降用のエレベータを2基、他に身障者用トイレなどを設置する予定。

問 事業費の負担割合はどうなっているのか。

答 国1/3、JR1/3、残り1/3のうち県負担が1/2で本町は実質1/6の負担となる。



長与駅東口

### ○コミュニティバスの検討

270万円

今後の高齢化社会における新交通体系を視野に入れて、現状を分析・調査し、交通体系を検討する。

問 アンケートの対象は何か。

答 地域性、年齢性を考慮して3千人程度を考えている。

### ○住宅リフォーム助成

500万円

24年9月から20万円以上の住宅リフォームについて、上限10万円で工事費用の10%を助成。

問 適用範囲はどうなっているのか。

答 増築、改築、屋根の葺き替えや塗装工事、外壁の塗り替えや張り替え、サッシ・畳・襖の取り替え、門柱やブロック塀が適用される。

### ○高田保育所の建設

3億1675万円

老朽化に伴い、ふれあいセンター上段に建設予定。事業費は建設費と備品購入費に充てる。

問 どういう思いで設計したのか。

答 子どもたちにとって温かみがあり安全性を第一に考えた。日当たりの良い保育室、雨天時対応の遊戯室、各クラスに手洗いを設置し、トイレがすぐできるように場所を工夫した。

### ○国体に向けての公園整備

8930万円

国体の施設整備として、総合運動公園運動公園広場とふれあい広場の表層土の入れ替えと防潮柵の設置工事。

問 工事期間中の代替のグラウンドはどこか。

答 工事期間は10月の町民体育祭終了後から1月末までを予定。工事期間中は小学校のグラウンドを利用してもらう。



### ○西高田線都市計画道路

1億6276万円

皆前人道橋西側県道から西高田公営住宅そば町道までの工事区間。24年度分の補正および25、26年度分の工事区間の債務負担行為を計上。

問 住民の利便性に、かなうのか。

答 住民の利便性を前提に、高田線の混雑緩和ということで決定している。

# 修正動議出されるも原案可決

西高田線都市計画道路に関する補正予算に対して、中止を求める修正案が出されましたが、審議の結果否決されました。

## 修正案

1億6276万円↓0円とし、  
補正総額を5億1005万円とするもの。

## ○修正案賛成討論

長与駅のバリアフリー化に伴う費用やコミュニティに対する補助、手狭だった高田保育所が新しく生まれ変わり子どもにも環境にも優しい保育所が建設されることや、高齢者の見守り事業の拡充、リフォーム助成金制度を県下の町でいち早く導入され、その他町民の安心安全の町づくりに必要な予算であると思う。

しかし、どうしても納得できないものが、西高田線都市計画道路である。一つ目に必要性に疑問があり効果が疑わしい。二つ目にあまりにも多額の費用が掛る。広く町民が利用に供する道路かも疑問であり事業の中止・見直しを求める。

## ○原案賛成討論

高田保育所の建設では、これまで施設の老朽化や耐震基準の点で、保育環境の向上と施設の安全確保は大きな課題であったが、今度は子どもたちの動きにも十分配慮された設計となっており今後子どもたちの健やかな成長の場として完成が待たれる。本町は26年度長崎国体の少年少女ソフトボールの会場であり、開催に向けふれあい広場・総合運動公園運動公園広場の土の入れ替えは、40数年に1度の国体成功と、来町した選手に気持ちよくプレーしてもらうため必要不可欠であると考えます。

その他経済活性化対策・弱者への生活支援・安全安心まちづくりなどの内容が盛り込まれた補正である。

## 町道工事請負契約の締結

全会一致  
可決

契約金額 **8,541万円**

全長593mのうち、西側埋立地を起点とし熱回収施設までの400m部分



### 主な質疑

- 問** 一括発注すれば、経費削減になるのではないか。
- 答** 補助事業の予算の関係で分割している。公共請負契約で、追加工事が発生する可能性があるが今回は大丈夫か。
- 問** 発注前の段階で、施設組合と道路内の埋設管などの協議を行っている。
- 答** 生活道路として利用すると思われるが、街灯の計画はあるのか。
- 問** 町道であるので計画はない。

(町道池堂西時津線道路築造工事) 工期 24年6月22日～25年2月28日まで

# 13人が問う

## 一般質問

質問の内容は事前通告制です。制限時間60分の範囲内で一問一答で行われます。

## 一般質問の記事

質問した議員が執筆したものです。原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。

## 会議録の閲覧

一般質問の会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町ホームページで閲覧できます。

吉岡 清彦 議員 ..... 5P

①幸福度日本一のまちへについて

西田 敏 議員 ..... 6P

①新町長のマニフェストについて

佐藤 昇 議員 ..... 7P

①吉田新町長の政策と行政運営について

金子 恵 議員 ..... 8P

①町長のマニフェストを問うについて  
②多目芝生広場の状況について

堤 理志 議員 ..... 9P

①吉田慎一町長の町政運営方針について  
②定住自立圏構想への対応について  
③行政と議会との関係について

西岡 克之 議員 ..... 10P

①長与町の道路政策及び交通政策について  
②今夏の節電対策について

内村 博法 議員 ..... 11P

①吉田町長の政治姿勢について  
②住民への行政サービス向上策について  
③人事評価制度について

安部 都 議員 ..... 12P

①高齢者福祉行政について  
②男女混合名簿導入について

饗庭 敦子 議員 ..... 13P

①長与町の情報インフラについて  
②高齢者の生きがいづくりについて

分部 和弘 議員 ..... 14P

①長与町の美しい街並みと景観について  
②通学時の安全確保について

河野 龍二 議員 ..... 15P

①国政課題と町政運営について  
②保育料の改定について  
③生活保護をめぐる問題について

喜々津英世 議員 ..... 16P

①第8次総合計画事業の取組状況について  
②国民体育大会開催に向けての取組状況について

森 謙二 議員 ..... 17P

①医療費の抑制策について  
②長与町のコンパクト化について

# Q 日本一住み良いまちへ取り組み

## A 幸せとを感じるよう取り組む

よしおか  
きよひこ  
吉岡 清彦 議員



**議員** 国民の幸せと

いうのは、まず、国家が安定して初めて達成できるのではないかと  
思う。メダカの生徒に担がれたドジョウが、  
国家の采配を振っておるわけだが、校長不在のため、安定した国家運営がなされていないのが、今の日本ではないかと思う。トップの力量がどれだけ大事かという証明だと思う。

今、長与町のトップが代わって「幸福度日本一」づくりを目指しているが、その思いは何か。

**町長** 魅力ある長与町として発展するためには、一体何が必要なのかを考え、町民の思いはどこにあるのかを確認し、町民皆様の幸せを第一に考えて、継続事業の早期完成や新たな事業に取り組みしていく。また、「住みたい・住み続けたい・住んで良かった」「暮らして



▲人材は住民の宝なり

幸せだ」と感じてもらうように取り組む。

**議員** 住民が苦労や負担となっている月一回の資源化物の拠点回収の解消を、住民の幸せを願うならば必要と思うがどうか。

**町長** 環境行政、取り分けごみ行政については、大変重要な課題であると思っている。資源循環型社会の構築を目指し、資源化物のリサイクル・ごみの



▲最優先順位となるか

減量化の促進を図る観点からも、現状では有効な手段と考えている。加えて、地域住民相互の交流の活性化も図られ、延いては住民との協働の観点からも良い手法だと思ふ。

### 職員は住民の宝

**議員** 住民は町の宝であり、職員は住民の宝である。住民の幸せづくりのために、その

人材をどう育てていくのか。

**町長** 地方分権に伴い地方公共団体が自主的に担う課題が山積しており、行政サービスにおける総合的な質が問われている。よって、初心の心を絶やさず、常に町民の立場に立った対応が出来るように再度徹底していく。また、職員研修などの環境を整備し、職員の能力開発・自己啓発に取

り組む。

**議員** 行財政改革や各種委員などの改革が必要と思うがどうか。

**町長** 第4次長与行政改革大綱の基本方針に基づき効率化に取り組み。

**議員** 人口5万1千人目標について、どう取り組むのか。

**町長** 開発などの事業と福祉・文化・教育などの事業を進めることで、人口増加となる。

### 大型事業の行方は

**議員** 大型事業などの見直しを行うとの話があったがどのことか。

**町長** 継続事業については、事業に無駄がないか、あるいは、最小の費用で最大効果が発揮できるよう取り組み。また、新規事業については、優先順位を決め計画的に取り組む。

# Q 幸福度をどのように測るのか

## A 幸せと感じるまちに



西田 敏議員

**議員** 吉田町長は、「幸福度日本一のまちを目指す」をキャッチフレーズにして選挙に当選された。ブータン

国の（GNH）国民総幸福度は金銭的・物質的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさも尺度に入れた「幸福度」を表す考え方であるが、国民の9割以上が「幸せ」と回答したという。またテレビ、新聞の報道で法政大学の教授が様々な社会統計の中から、地域住民の幸福度を端的に示していると思われる指標をまとめた「47都道府県幸福度ランキング」が公表されるなど、国民の「幸福度」への関心は高まっている。

**町長** 町長の言う「幸福度」を示す基準は何か。これからの長与町が、まちづくりを進めて行くなかで、さらなる活力を生み出し、魅力ある長与町と

私は行動します。

幸福度日本一のまちへ。

よした 慎一 5つの提言

3 生涯にわたって安心して暮らせるまちづくり

- 徹底した町民との対話によって行政を刷新
- すべての町長が安心して医療が受けられる
- 施設整備を完了
- 行政と地元商店街が連携した「見守りネットワーク」で、独居老人の安全をサポート
- 高齢者および若者にやさしい「防災」の検討や、買い物などが困難な高齢者のサポート体制を充実

4 地場産業の育成と活性化

- 地元商店街の活性化や企業誘致により雇用の拡大を図る
- 地元の特産品による「新・長与ブランド」の創出
- 地元シーボルト大学や高等技術専門校と連携し、地場産業の育成と活性化のマスタープランを考案していく

5 環大村湾地域ネットワークの構築

- 近隣市町との連携による新たな産業の創出や人的・物的交流を促進

1 住んで良かったと感じるコンパクトシティ

- 機能性、快適性、利便性に優れたコミュニティづくり
- 女性も安心して働ける環境づくり
- 計画的な交通形態の整備

2 まちぐるみで子どもを育てる環境づくり

- 学校教育に中高年層の技術、経験などを取り入れ、心豊かな子どもたちを育成
- 図書館やコミュニティセンターなどの教育文化施設を充実

▲幸福度の基準とは

して発展するためには、一体何が必要なのかを考え、町民の思いはどこにあるのかを確認し、町民皆さまの幸せを第一に考え、第8次総合計画を基本として、継続事業の早期完成に務めさらには新たな事業に取り組んでいく。

子どもからお年寄りまで一人でも多くの町民が「住みたい・住み続けたい住んで良かった」と言っていただけの「暮らして幸せだ」と感じてもらえることを、最大の目標としてまちづくりを推進していきたい。

### 個人の心理的要素

**議員** みずほ総合研究所の「日本人の幸福の源泉を探る」では幸福

感には仕事内容に満足し職場環境、人間関係の良好な人、家族との食事や団欒を日々楽しみ趣味や娯楽を持ち、近所づきあい、親戚友人、知人とのコミュニケーションが活発な人ほど幸福度が高いと分析している。

熊本県ではそういったことも盛り込んだ県民アンケートを準備している。町でも実施したらどうか。

**町長** 各方面の調査検討を行いながら施策を考えていく。アンケートは今のところ考えていない。

### 情報インフラ整備

**議員** 情報インフラの整備と行政情報公開

をビジョンに挙げているが具体的に伺いたい。

**町長** 町民の暮らしや生活を豊かにするソフト対策を充実していく必要がある。福祉、教育文化、環境、防災、医療などの様々なソフト分野において、少ない費用で効率的な対策を打っていくためには、情報インフラの整備は不可欠である。防災の面から見ると、今までは防災無線による放送で聞き取りにくいことも多々あったと思うが、各家庭におかれた端末に自動的に音と文字で知らせる。お年寄りの安否確認や、買い物弱者に対する宅配業務もやりやすくなる。医療分野における検診や相談なども取り込める。



佐藤 昇 議員

# Q 基準は何か幸福度日本一

## A 暮らして幸せと感ずることである

**議員** 「幸福度日本一のまち」にするとは具体的にどういうことなのか。

**町長** 「住みたい・住み続けたい・住んで良かった」と言ってもいい、暮らして良かったと感じてもらったことが最大の目標である。

**議員** どのような施策を行うのか。

**町長** 継続事業の他、まちぐるみで子どもを育てる環境づくり、生涯にわたって安心して暮らせるまちづくり、地場産業の育成と活性化を推進する。  
**議員** 何を基準に全国の自治体順位が決まるのか。

**町長** 基準はなく他の自治体と比較するといふものではない。

**議員** 公的統計を基に都市力を安心度、利便性、快適性、富裕度、住居水準充実度の観点から数値化した統計、

「すみよきランキング」によると、長与町は全国約1700市町村の中で500位にも入っていない。町づくりを行うには、参考にすべき統計ではないのか。

### 情報インフラ

**町長** 参考にしながら進めていく。

**議員** 端末機が3万円と仮定し1万6000世帯に配置すると、

4億8000万円必要になる。長与町の標準装備にするシステム開発費用、導入後の通信費など維持管理費、故障や紛失した場合の処理、転入・転出時の対応、果たして高齢者が扱えるかなどの疑問があるが、制度設計をどう考えているのか。

**町長** 研究中である。

**議員** 法律や制度の改正による情報処理にかかるシステム改修費

は莫大である。専門性は継続性の面から、メーカーやシステム開発会社が高止まりしている。愛知県東郷町では、数年かけて見直し、年間5000万円、総額2億円削減している。長与町も取り組むべきと思うがどうか。

**町長** 費用が削減できるのであれば大いに検討したい。

### コミュニティバス

**議員** コミュニティバスの運行には、運送事業者、長与町、NPO法人が運行する形態があるが、どの方法を考えているのか。

**町長** 今後検討する。

**議員** 運行するには財源が必要であるが、どう考えているのか。

**町長** コミュニティバスは必要であるが、財源については詰めて

いない。  
**議員** ごみ処理に関しては、時津町と共同で処理している。資源物の収集は、長与町は月一回の拠点回収とステーション回収の併用、時津町はすべてス

テーション回収となっている。共同で処理する以上、どちらかに合わせるべきではないのか。  
**町長** 十分に研究している、しばらく待つてほしい。



▲長与に住んでよかったなあ～

## Q マニフェストは実現可能か

### A 責任もって着実に遂行する

金子  
かねこ

恵  
めぐみ  
議員



**議員** 現在、地域行政は地方分権の潮流を受け、各自治体が自立した運営を目指しながら住民の生活に根ざした政策を実現すること

が重要である。その行政運営など、公開討論会におけるマニフェストを検証することで、今後の方向性が見えてくると考える。資料にあるマニフェストをどう考えるのか。

**町長** いろいろな思いで公開討論会をしたと思うが、私の思い・ビジョンである。

**議員** マニフェストとは、住民が具体的にイメージできるようにするものであり、達成すべきものである。そのためには職員の理解が必要だがどのように浸透させ、実行していくのか。

**町長** 所管と話し合いながら、協力を得ながら実行していく。

**議員** マニフェスト

の住民への浸透・関心・影響はどうか。

**町長** 浸透するよう自分がやりたいと思ったことを、責任もって精一杯やる。そして、着実に遂行していく。

#### 総合計画との整合

**議員** 第8次総合計画と、町長が示した政策との整合性はどうか。

**町長** 情報インフラ・環大村湾地域ネットワークの構築は、含まれていない。第8次総合計画を重視しながら行っていく。

**議員** アナログ防災無線をデジタルに移行する経費を、情報インフラの財源に充当すると聞いたが、防災無線は必要ないと考えているのか。

**町長** 防災無線は必要。しかし、デジタルに移行するときに経費

が掛かる。それであれば、10年位のスパンで安価で代用できるものがないか考えたい。

**議員** 政策の中に商業活性化とある。町全体の商業者を巻き込んだ「秋祭り」での協力体制はどうか。

**企画振興部長** 商工会・町が中心となつてにぎわいを取り戻すイベントを考えている。

#### 芝生広場管理の適性化を

#### A 当分の間町で管理

**議員** 昨年6月に500名余りのボランティアの参加により、土地の有効活用として「町民の憩いの場」になるようにという思いで、ティフトン芝が植栽された。

その多目芝生広場は、町の公有財産とすることで、10月から管財課の所管になったが、

管理体制はどうか。

**管財課長** 除草・散水を2回行った。

**議員** 予算に計上されていないが、費用はどこから出たのか。

**課長** 訂正する。冬場はしていない。

**議員** 5月中旬には一部を除いて枯れかけていた。地元自治

会が管理するのではないか。

**副町長** ごみ焼却場の説明の中で、地元より振興目的で要望があった。環境施設組合の関係で遅れたが、覚書までは交わしている。契約できるまで、町で管理していく。



▲みんなで植えた芝生広場、元気になりました





堤 つつみ  
理志 りし  
議員

## Q どうする 情報インフラ整備

### A プロジェクトチームで検討

**議員** 町長は5つの提言を実現するための「情報インフラ整備」を公約に掲げたが、実現のための手法をどうするのか。

**町長** 町民の生活を豊かにするソフト対策を充実していきたい。福祉、教育、文化、環境、防災、医療などの分野で効率的な対策を打つ基盤となる。プロジェクトチームを立ち上げ、若い職員の見聞も聞きながら効果を得られるよう、また、国などから財政支援を得られるよう検討していきたい。

**議員** 情報機器を操作できる人とできない人の格差解消も検討する必要がありますのではないか。

**町長** その点も検討したい。

**議員** 議会の情報発信として議会放映の合意ができた場合、予算など対応する考えはあるのか。

るのか。

**町長** 前向きに考えたい。

**議員** スマートフォンでのインターネット閲覧が増加している。町のホームページもスマートフォンでの閲覧に対応するべきではないか。併せてツイッターとフェイスブックの導入を提案するがどうか。

**町長** 今後検討していきたい。

### Q 決めていいのかわ定住自立圏構想

#### A 慎重にみていく

**議員** 長崎市と定住自立圏構想を締結すると先々、自己決定権

自治体間の対等・平等性に変化が生じ「自分たちの町づくりは自分たちで決める」という地方自治の原則が通らなくなるのではないかと懸念を持つ。構想を締結した場合のメ

リット・デメリットを慎重に検討すべきではないか。

**町長** それぞれの自主性が尊重されると考えているし、国から財政の支援もある。各自治体の将来像の実現と、定住自立圏構想も併せて進めることで広域的な施策もできる。

**議員** 国のレポートは「すべての市町村にフルセットの生活機能を整備することは困難」「選択と集中」「中心市の経常的な一般財源の強化」などとしている。長崎市は財政的、施策的に優遇され、長与町はその逆になるのではないか。

**町長** 一市二町にとつてよいものであると思うが慎重に見守りたい。

### Q 認識しているか 議会の役割

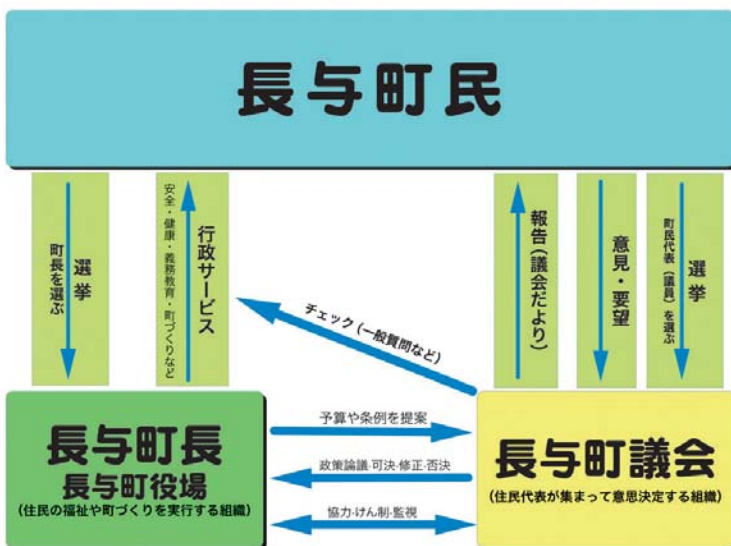
#### A よりよい町づくりのための存在

**議員** 町民意識調査によると、84・8%の町民が長与町に住み続けたいと回答。これは

行政・職員、住民参加に加え、議会の政策提案と行政監視も役割を果たし、結果として町の評価に一役買っている。

る。議会の役割について町長の見解を問う。

**町長** 議会は執行機関と独立・対等な立場にあり、議決権と行政監視機能がある。互いに牽制しながらよりよい町づくりに務めていくべきものと考えている。



▲議会の仕事は暮らしやすい町づくり

# Q 大丈夫か通学路の安全対策

にしおか  
西岡  
かつゆき  
克之  
議員



## A 全町内通学路の安全点検を済ます



▲通学路は安全か



▲早く人道橋を

**議員** 京都、愛知など通学時間帯に、痛ましい交通事故が続発しているが、本町では通学路の安全性について再点検をしたのか。

**教育長** 文科省の指示を受け、学校、警察、役所などで一緒に点検した結果、すぐに対応できるところから取り組み、そうでない所は関係機関と協議しながら解決していく。

**議員** 私も地域の方々と地元校区を点検したが、通学路の白線

が消えているのを数箇所確認した。早めの整備をするべきではないか。

**教育次長** 早急に整備する。

### Q 定林橋の横に人道橋設置を

### A 前向きに考える

**議員** 定林橋の安全性については、架橋当時と比較して、交通量も増加し、橋の幅員が狭く通学路にも指定してあり、危険性が高い

と感じる。拡幅ができないなら横に、人道橋をかけることができないか。

**町長** 橋は架設から40年経過しているが、調査の結果、安全度は高く、架け替えの計画はないが、幅員が6メートルであり、歩行者の安全性が保たれていない状況である。側道橋が必要であると考える。現在、架設に向けて有利な補助金などの研究をしている。

**議員** 長与ニュータウン内にある街路樹については、根本が盛り上がり、歩行者が通行中に転倒しかけたり、自宅前のイチヨウの落ち葉清掃で、精神的、肉体的にかなりの負担を強いられているようだが改善策はないか。

**町長** ニュータウンは完成後40年経っており、議員指摘のような支障も見受けられる。町も安全な歩道の利用を考えているが、団地内自治会の意見が異なり対応に苦慮している。

**議員** 住民アンケートを取ったかどうか。

**町長** もう少し地域で協議の時間がほしい。

**議員** 下高田踏切は双方通行で危険性が高い、今後の安全対策はどうするのか。

**町長** 現在、高田線街路改築工事で見直しが行われている。県は最終的には、地元

の理解を得て県道側から左折の一方通行のみ認め、右折禁止の方向である。

### Q 節電対策はどうか

### A 昨年以上に取り組む

**議員** 今夏の節電対策はどうするのか。

**町長** 全国的に電力不足が懸念されるなか、本町でも昨年以上の節電に取り組むたいと考える。庁舎以外の施設も同様に取り組む。

**議員** 節電をしながら発電による電気買い取り価格の増額も決まったので、ソーラーパネルを水道局の屋上に取り付けてはどうか。

**水道課長** 取り付けに関して、現在補助金がない。新たな投資は水道施設整備のめどがついてから考える。



内村 博法 議員

## Q 町長の今後の行政方針は

### A 総合計画を基本に実施していく

**議員** 前町長の行政についてはどのように評価しているのか。

**町長** 前町長においては、地方自治体を取り巻く環境が大変厳しい中、豊富な行政経験を活かし、特に財政の健全化を念頭に置きま

ちづくりを推進してきました。また町民意識調査においては84・8%の町民皆さまに「長与町に住み続けたい」と答えていただき、高い評価を受けられています。

**議員** 今後、これまでの行政方針を全面的に承継していくのか、あるいは何を見直して改善されるのか基本的な見解を伺う。

**町長** まちづくりの基本方針である町の「第8次総合計画」に基づき、事業を実施していくなかで、長与町のさらなる魅力や活力を生み出す町にするために一体何が必要なのか、町民の思いはどこ

にあるかを確認し、必要なものは見直しも考えながらまちづくりを全力で取り組みたいです。

### Q 窓口業務改善や電子申請の導入は

**議員** 相談窓口機能の充実を図りたい

**議員** 窓口業務の改善として、全ての申請・届け出手続きが1箇所

の実現すれば、住民の利便性は飛躍的に向上する。他自治体では多くの様々な導入事例がある。本町において導入する考えはないか。



▲窓口業務改善や電子申請の導入が期待される

な窓口機能の充実を図って、来庁者の利便性を図りたい。

**議員** 電子申請は、自治体への申請や届け出について、申請書の記入を自宅のパソコンで送信することができるようになるもので、既に実施している自治体もある。電子申請により、いつでもどこからでも申請や届出を行うことができるため、わざわざ自治体の窓口に行く必要がない。本町において導入の考えはないか。

**町長** 現在、長崎県が実施している電子申請について検討中である。

### Q 本町の人事評価制度実施内容は

**議員** 本町の人事評価制度の実施内容はどうか。

年度から試行を重ね、本年度より本格実施に移っている。本制度の最大の狙いは、職員の最大の向上による住民サービスの向上にある。また、人事評価を継続的に実施することにより職員間のコミュニケーションを活発化できる。更には職員それぞれの適正をより正確に把握することができ、適正な人事配置に寄与する面も大きい。

**町長** 今後、専門知識を有するコンサルタントの指導を受けながら、評価者の研修を重ね、制度の円滑な実施を図る予定である。

### Q 本町の人事評価制度の実施内容は

**議員** 本町の人事評価制度の実施内容はどうか。

# Q 特養100人を超す待機者対策は

## A 特別養護老人ホームを一カ所設置

安部 都議員



**議員** 本町には、特

養老人ホーム待機者が100人を超すが、対策はあるのか。

**町長** 現在、地域密着型特別養護老人ホームを、26年度に一カ所設置する計画をしている。

**議員** 小規模多機能施設の設置との検討があったが、進行はどうなっているのか。

**町長** 設置には、給付費が増大し介護保険料の増となるため中止となった。

**議員** 「しあわせなまち」と思えるまちづくりについてはどうか。

**町長** まちぐるみで子どもを育てる環境づくり、生涯にわたって安心して暮らせるまちづくり、地場産業の育成と活性化、健全な財務体制の維持、「暮らしてしあわせだ」と感じてもらえるまちづくりを目標としている。

**議員** 介護人材の確保とサービスの質の向上についてはどうか。

**町長** 介護報酬改善や介護従事者処遇改善の取り組みが実施されてきた。幼少期から介護に対する啓発や介護を身近に感じることが、今後の重要な課題である。サービスの質は、47の介護保険事業者で構成する長与町ケア連絡会を通じて、介護従事者に対する研修機会の設置や、サービスの質の向上を図っている。

**議員** 在宅介護に対する町の考えと今後の施策はどうか。

**町長** 生活圏域ニーズ調査の結果、要介護認定者において、57.8%の方が、自宅で介護を受けたいと回答している。住み慣れた地域で暮らしていきたいという、必要なサービスを整備し取り組んでいる。

今後の施策については、介護給付以外、配

食サービス、日常生活用具給付事業や在宅介護者見舞金の支給などの事業を実施していく。

### SOSベル導入は

**議員** 緊急通報システムの導入の考えはないのか。

**町長** すでに20人の方に、福祉電話サービスとして緊急通報システムを設置している。今後情報インフラの整備に合わせた対応をしていきたい。

**議員** 60歳以上の方から推薦された、高齢者委員会の設置の考え

はないのか。

**町長** 老人クラブ連合会などから十分に要望や意見を聞き、対応していきたい。

**議員** 65歳になった時点で、介護福祉士などによる訪問をしてはどうか。

**町長** 現在6名の訪問看護師により、70歳、80歳、90歳到達者へ、個別訪問による健康調査を実施している。要援護者の把握を行い、



▲大切なあなたの命、SOS緊急ベルで救おう



▲世界で一番「しあわせ」と笑顔で話す特養の入居者たち(デンマークにて)

### 男女混合名簿導入を検討せよ

**議員** 男女混合名簿導入について、再度考えはないのか。

**教育長** 導入しない考えには変わりはない。

心のケアを含め継続して行なっているのので、十分な対応ができていると考える。



あいば 響庭 敦子 議員

# Q 早急に実行できるか情報インフラ

## A これから、研究・検討していく

**議員** 現在の長与町の情報インフラをどのように捉えているか。

また具体的にどのような計画を持っているか。

**町長** ホームページ、広報誌、回覧、同報無線など利用し住民に行政情報提供している。

今後の計画は、情報インフラ整備によるネットワーク化を進めていく。

**議員** 各家庭へタブレットを配布するとの公約で、費用は4億8

000万ぐらい、10年

スパンでと言われたがいつから実施予定か。

**町長** 今から立ち上げて行く。

**議員** 岐阜県白川町で行っている、高齢者見守り安心システムを

長与町でも考えているか。

**町長** 今から研究していく。

**議員** マニフェストで上げているので、イメージがあると思うが

**町長** 今後研究・検討

討していく。

### フェイスブック利用

**議員** ホームページについて、3月議会で

質問したフェイスブックの活用を含めた具体的な進捗状況はどうか。

**町長** 広報推進プロジェクト委員会を設置し研究・検討していく。

**議員** 委員会のメンバーはどうなのか。

**政策推進課長** 比較的若い職員8名である。

**議員** 3月議会でも研究・検討との答弁だがどのような研究をしたのか。

**課長** 今後チームを作って検討する。

**議員** ホームページの更新が月3回程度ではタイムリーな情報は

難しいと思うがどうか。またホームページに関してチェック機能はあるか。

**課長** 緊急情報は別

にしているが、今後プロジェクトチームでリニューアルやフェイスブックも含めて十分検討していく。チェック機能は職員が行う。

**議員** 情報インフラ整備のためのクラウド利用はどうか。

**町長** 基幹系は県内関係市町と検討中、情報系は庁舎内プロジェクトを設置し検討する。

### Q 高齢者の生きがいづくりの体制は

### A ボランティア活動の推進者で対応

**議員** これから高齢者を取り巻く環境が大きく変化していく中で、団塊の世代が高齢者の仲間入りするが、

このような「高齢者の生きがいづくり」に行政はどう関与していくか。

**町長** 各種事業や活動の内容を多くの高齢

者へ周知し、広く活躍

ができる場面を提供する。

**議員** 高齢者の就業機会の拡大が必要ではないか。

**町長** 就業機会の確保は重要な課題である。シルバー人材センターへ財政的なことも

### ボランティア活動

**議員** ボランティア活動が大きな役割を持つが、もっと参加しやすい方法、ボランティアを行いたいという意識づけのPRはどう

か。

**生活福祉部長** 社会福祉協議会、県の広報誌事業所のお知らせなどで対応する。



▲長与町にもぜひ導入を!!

## Q 美しい街並みと景観は

### A 美しい街並み形成に向け努力

わげく  
和弘  
かずひろ  
議員



**議員** 美しい街並みの形成に向け、これまでの屋外広告物に対する指導実績と成果についてはどうか。

**町長** 県下一斉違反広告物総点検に併せて、毎年9月に県と共同で町内の県道および町道の違反広告物の一斉点検を実施している。また、道路ふれあい月間の一環として、

県、町、警察署、身体障害者福祉協会が共同で毎年度実施している。道路点検パトロールにより、道路および違反屋外広告物などの現状把握および指導を行っている。美しい街並み形成に向けて努力していく。

**議員** 街の景観を見たときに、消火器保管庫の経年劣化による色彩の変化、破損が目立つが保管庫の管理状況はどうか。

**町長** 日頃の点検・管理は自主防災組織に

お願いしている。消火器には耐用年数があるので、計画的に取替えるを行っているが、格納箱の破損については、自主防災組織などからの連絡により対応している。

**議員** 電線類の地中化の検討は、進められているのか。

**町長** 既成市街地では実現が困難であると考ええる。今後、新たな市街地の開発においては、メイン道路においては、協力の要請をしていく考えである。

### Q 通学時の安全確保 A 危険箇所の総点検を行った

**議員** 全国的に大きな社会問題となっている、登下校時の交通事故について、長与町としてどのように捉えているのか。

**教育長** 文部科学大臣は異例の緊急メッ

セージを出している。それによると、各学校と警察と道路管理者などが一層連携し、協働して、通学路の安全点検や安全確保に努めて欲しいと通達している。この緊急メッセージを重く受け止め、通学路における危険箇所の総点検を行ったところだが、できる所から、1つずつ解決していきたい。

**議員** 長与北小校区の通学路のチェック状況および対策についてはどうか。

**教育長** 多目的研修施設から出口付近の交差点および舟津橋交差点は交通量が多い上に、見通しが悪く危険だということに対しては、防犯パトロールの皆さんの指導を受けながら、子供たちへの交通指導を繰り返し徹底させている。

**議員** 子どもたちへの通学時の指導状況お



▲安全な登下校に

よび地域の協力はどうか。

**教育長** 北小では下校時は毎日、学年ごとに児童を玄関前に集めて、地区ごとに並び替えて、交通安全などの指導を行ってから下校

させている。登下校時の安全確保のため、地域ボランティアの皆さんによる、献身的な立哨指導やパトロールをしている。



河野 龍一 議員

# Q 消費税増税に反対を

## A 注視していきたい

**議員** 消費税の増税は町政運営に大きな影響を与える。消費税増税をどう考えるか。

**町長** 政府では、社会保障と一体改革として議論されているが、先行きは不透明であり注視していきたい。

**議員** 町長が示している政策は、町民の生活を良くしたいとの思いだと思う。増税されれば町民の生活も脅かされる。今にも増税法案が可決されそうなきに「注視していきたい」の答えで良いのか。

**町長** 増税は好ましくないと思う。国が決めることなので、注意しながら見ていきたい。

### ゆるすな 原発稼働

**議員** 原子力発電が再稼働しようとしている。原子力問題をどう考えるか。

**町長** 安心安全を考

えると原発の稼働には憂慮する。原発に変わるエネルギーに期待したい。

**議員** いま再稼働の状況はどう思うか。

**町長** 安心安全があれば再稼働を認めても良いと思う。

**議員** 脱原発を目指す首長会議への参加は考えられないか。

**町長** 今後検討していきたい。

**議員** TPPへの参加問題はどう考えるか。

**町長** 議会が示した「慎重に対応すべき」の判断で、国民の合意を得るよう努力してほしい。

**議員** 国民の合意が得られれば参加すべき考えなのか。

**町長** 農産物に被害を受ける状況もある中で、国においては慎重に対応してほしい。

**Q** 高い保育料を引き下げよ

**A** 引き下げに向け努力したい

**議員** 本町の保育料は近隣自治体に比べても高く、保護者からも不満の声が出ている。引き下げの課題はどうなっているか。

**町長** 近隣自治体の状況も調査しながら、どのような方法が良いか検討している。

**議員** 今回、3度目の質問であるが、過去2回とも「検討したい」との答弁であった。今回も「検討して

い

る」との答弁。進んでいないと思うがなぜか。

**生活福祉部長** 子育て支援への対策を優先して行ってきたので、保育料はまだ調査している。

**議員** 町長の所信表明でも「まず始めることとして」子育て支援を第1項目に上げている。他の自治体より高い保育料の引き下げも大事な子育て支援ではないかどう考えるか。

**町長** 保育料の引き下げだけが、子育て支援ではないが、引き下げに向け努力したい。

**Q** 生活保護受給の環境整備を

**A** 現状を維持していきたい

**議員** 生活保護の受給の問題が報道されているが、必要な方が気軽に申請できる環境を整えるべきではないか。

**町長** 生活保護は国の制度で現状でも必要な方があれば申請できるようにしている。



▲高い保育料引き下げて！

## Q 情報インフラ検討チームの結成を

### A 職員や外部の力も借りて構築する

喜々津英世ききつひでよ議員



**議員** 第8次総合計画は、各種審議会・委員会の審議を経て議会で決定したが、新町長誕生で計画の見直しはあるのか。

**町長** 基本構想は尊重する。見直しの必要がある場合は、町民や議会の意見も聴きながら対処したい。

**議員** 町長の目玉構想である「情報インフラの整備」は、総合計画の基本施策に合致している。庁内プロジェクトチームを早急に立ち上げ、検討すべきではないか。

**町長** 職員や外部の力も借りながら、構築していきたい。

**議員** コミュニティ組織活動への積極的な参加推進を計画しているが、実態はどうか。

**町長** コミュニティ組織の基盤である自治会の加入率が低下している。加入促進に向けた広報啓発の強化、加

入促進調査研究会を立ち上げて対策を講じる。

**議員** 自治会会員の脱退が問題化していると思う。実態の把握と対応状況を示せ。

**地域政策課長** 自治会長へのアンケートをした。その報告があつている。どのような対応策があるのか即答できないが、検討はしたい。

**議員** 長与皿山窯跡地の整備・保存について、取組状況を示せ。

**教育長** 大きな進展はない。買収した土地については、除草などの管理をしている。

未買収の土地については、今後とも地権者との交渉を継続していきたい。

**議員** 図書館や生涯学習センターの建設も近いと思われるが、郷土資料館を併設する考えはないか。

**教育長** 郷土資料館専用の施設は、財政的に厳しく考えている。図書館や生涯学習

センターの建設も近いと思われるが、郷土資料館を併設する考えはないか。



▲南コミュニティの新たな取り組み

センターの中に、併設する方向で整備したい。

#### Q 国体会場整備の影響と対策を示せ

#### A 小学校は体育館や代替地を利用

**議員** 運動公園広場などの競技会場、長与北小・長与南小の練習会場整備の時期、整備期間中のグラウンド使用に影響はないのか。

**町長** 競技会場の整備は、10月中旬から来年1月末を予定。両小学校の整備は、夏休み期間を含め3カ月を予定している。学校教育活動に支障が出ないようになりたい。

#### 町民参加の運営を

**議員** 国体は町民参加型の運営が重要だが、応援態勢や選手のみ泊は考えていないのか。

**町長** 応援は、各地

区コミュニティや自治会に協力を要請し、応援団を編成したい。

宿泊は、長崎市内の宿泊確保を県に要請しているため、民泊は考えていない。

**議員** 特産品のみかんや農産物加工食品のPRの考えはないのか。

**町長** 会場のみかんの試食、直売・宅配を考えている。併せて、農産品パンフレットの配布も考えている。





森 謙一 議員

## Q 医療費抑制の対策は

### A 特定健診を受けてもらいたい

**議員** 健康増進の施策と広報による医療費の抑制の現状と将来の見通しはどうか。

**町長** 増え続ける医療給付の主要因が生活習慣病関連疾病であることから、「予防医療」に重点を置いた「特定健診・特定保健指導」を実施している。

将来の見通しについては、少子高齢化が進展する中、医療費が増加の一途をたどることは確実である。今後は特定健診の原爆健診との同時受診、多くの町民が通勤する長崎市での受診等の受診率向上対策をはじめ、電話、戸別訪問、広報などがよによる受診勧奨、医師会との連携などで、手軽に受けられる健診であることの説明を継続することで、将来的な医療費抑制につなげたい。

**議員** 医療費の抑制にどのような町民の協力が become なるのか。

**町長** 自ら健康に対する意識を高めて健診の重要性を認識してもらい、疾病の早期発見・早期治療のため、年に一度は特定健診を受けてもらいたいと思う。

#### 医療機関数の検討

**議員** 医療費の抑制と医療機関の経営を保護する観点から、医療機関の数について検討できないのか。

**町長** 医療機関の開業の制限となり、独占禁止法に違反するといふ公正取引委員会の指針がある。また、県医療計画では、圏域による病院および診療所の病床の適正配置を定めているが、医療審議会の議を経たときは、届け出により設置することができるとなっている。

**議員** 多重受診とセカンドオピニオンの違いをどのように考えているのか。

**町長** 多重受診は、一つの症状、病気で複数の病院で診察してもらい、それぞれの病院で薬を処方してもらうこと。セカンドオピニオンとは、検査や治療を受けるにあたって、主治医以外の専門医に意見を聞くことで、より適した治療法を患者自身が選択することである。

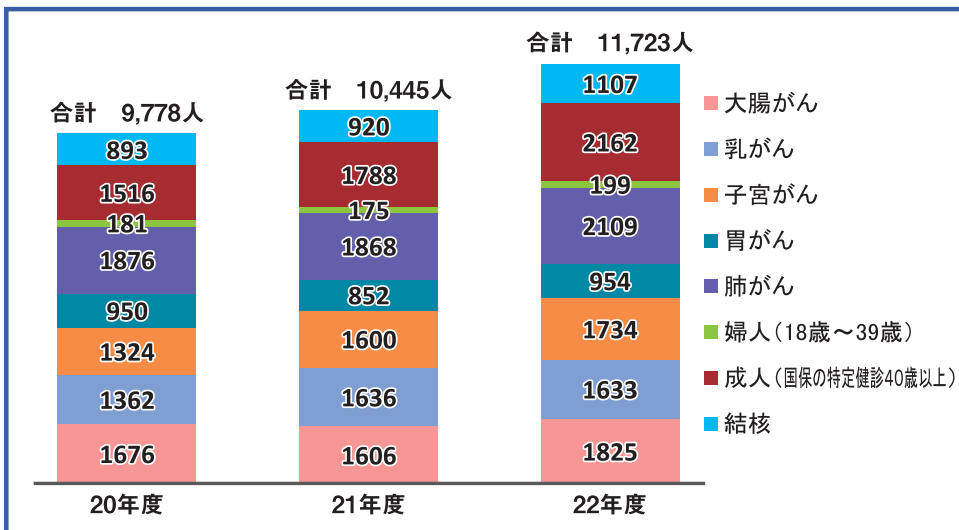
#### ひきこもりの現状

**議員** 現役世代の「ひきこもり」は、将来の社会保障面での負担になる。こうした人を町は把握しているのか。

**町長** 「ひきこもり」の実態調査を行っているが、相談に訪れた人のみを対象としている。本人のプライバシーの問題もあり、本町では把握できていないが、健康相談、訪問

指導などで支援が必要と思われる人には、県の相談窓口である長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター等を紹介している。また、

身体機能の低下や閉じこもりを予防し、社会参加を促すことを目的とした「すてっぷ&ほつと」を実施し、相互交流なども行っている。



▲長与町の成人健診受診状況 (健康保険課調べ)

## 未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費 国庫負担制度堅持を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等及び義務教育費無償の原則として、全国のどこで学んでも子どもたちが等しく教育を受けることができるようにするとともに、自治体間での教育水準に格差を生じさせないようにするため制定されたものです。

また、義務教育費国庫負担制度は、国による教育分野の「最低保障」というべきもので、地方分権の推進を阻害するものではなく、すべての国民に対し適正な規模と内容の義務教育を保障するためには必要不可欠なものです。

さらに、未来を担う子どもたちに対し、国民として必要な基礎的資質を培うための豊かな教育を保障することは、国の社会基盤形成の根幹ともなるものです。

しかし、平成18(2006)年度において、義務教育費国庫負担制度は堅持されたものの、義務教育費の国負担率は2分の1から3分の1に引き下げられました。

平成24(2012)年度予算(政府案)の地方交付税は約17.5兆円(前年度比0.5%増)となっています。現在、義務教育費国庫負担金が減額された分は地方交付税で措置されていますが、補助金の一括交付金化の動向もあり、義務教育にとって恒久的に安定した財源とは言えません。

全国的な教育水準を確保し、安定した地方財政を構築するためには、義務教育費国庫負担率を2分の1に復元すべきです。

教育予算は未来への先行投資であり、子どもたちに最善の教育環境を提供していくことは社会的な使命です。

よって、国におかれては、義務教育費の負担率を2分の1に復元することを含め、義務教育費国庫負担制度の堅持と、その趣旨を生かした教育予算の充実を図られるよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成24年6月21日  
長崎県長与町議会



未来を担う子どもたちの教育を守る  
義務教育費国庫負担制度堅持を求める請願

請願者 長崎県教職員組合長西総支部

総支部長  
紹介議員

本田  
佐藤

昇 稔

### 24年6月議会の議案内容および賛否

議案	審議結果	饗庭敦子	安部都	内村博法	分部和弘	安藤克彦	金子恵	川井哲雄	森謙二	西岡克之	岩永政則	喜々津英世	佐藤昇	山口憲一郎	堤理志	西田敏	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟	
長与町条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長与町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
長与町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24年度長与町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	▼	○	○	○
町道池堂西時津線道路築造工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
未来を担う子どもたちの教育を守る義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[○賛成 ▼反対 一欠席]

# 行財政改革・まちづくりアンケート調査

委員長 佐藤 昇

## ★調査期日

平成24年5月15日から18日まで

## ★調査場所

・京都市与謝野町・大阪府寝屋川市  
・愛知県東郷町・三重県松阪市

## ★調査目的

行財政改革について  
まちづくりについて

## ○中小企業振興基本条例について

### 与謝野町

町民、事業者、経済団体および町が相互理解を深め、協働により中小企業の振興を図ることと、「まちぐるみ」で地域循環型経済の構築を図ることが基本理念である。このような条例は全国的にも珍しく今後の動向が注目される。

## ○人事評価制度

### 寝屋川市

「市民が原点・市民を起点・市民の視点」を基本に人事制度の改革を行っており人事評価制度、異動自己申告制度、昇任昇格試験などを他自治体に先駆けて導入してきた。職員勤務実績、意欲や能力を公正かつ

客観的に評価し資質の向上や人材育成を目的とした内容となっている。

## ○電子情報システムについて

### 東郷町

すべて外注していたシステム改修を自庁処理へ移行した。全庁的に電算を利用するからITを活用する型にシフトしている。担当職員の相当なスキルと情熱が必要であるが、結果的に年間5千万円の経費削減になっている。

## ○行財政改革について

### 松阪市

市長の強力なリーダーシップの下マニフェストに基づき部局長が政策宣言を行い、目標達成に向けて取り組み、その成果を評価している。予算査定は厳しく、事業仕分けや補助金の見直しを図り、財務体質の改善を行っている。

## ☆所感

各自自治体とも、より良いまちづくりへ向け懸命に努力していた。強行日程ではあったが得たものは大きく、長与町発展のため参考にした。

# 農業振興アンケート調査

委員長 山口 憲一郎

## ★調査期日

平成24年5月14日から17日まで

## ★調査場所

・香川県小豆島町  
・大阪府和泉市  
・大阪府島本町

## ★調査目的

・農業振興について  
耕作放棄地の対応、オリーブ産地の現状(加工品開発栽培の現状)、みかん産地の状況(生産加工開発)  
・水道事業について  
水道事業の運営、水源の確保、技術職の対応、などの調査を行った。

## ★調査内容

### ○耕作放棄地への対応

### 小豆島町

耕作放棄地の解消施策として、戸別訪問・貸付希望のまとめ・認定農業者の拡大・利用権の設定などを実施し、約50haを解消した。

### ○オリーブ生産の状況

### 小豆島町

現在1000ha、収穫量200トン、売り上げ60億円。町がオリーブと観光や製品の差別化、イメージ戦略など体

系的に取り組んでいる。

## ○農産物の製品加工開発

### 和泉市

農産物直売所や民間企業でのポン酢しようゆなど取り組んでいる。

### 小豆島町

オリーブ製品の競争力の強化、小豆島産オリーブのブランド確立など、製品としての付加価値アップを図っている。

## ○水道事業について

### 島本町

地下水位の低下によりくみ上げ量が減少したが、大阪広域水道事業団の高度浄化処理水を導入した。水道料金は22年に基本料金を値下げしたが、下水道料金は16%値上げした。



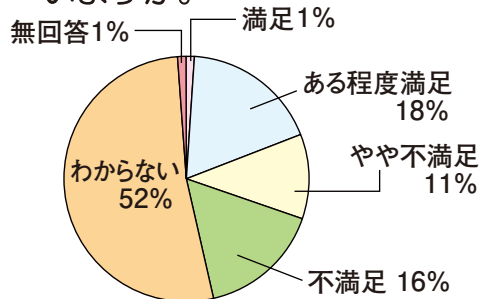
オリーブ公園にて

# 町議会に対する町民の意識調査の結果

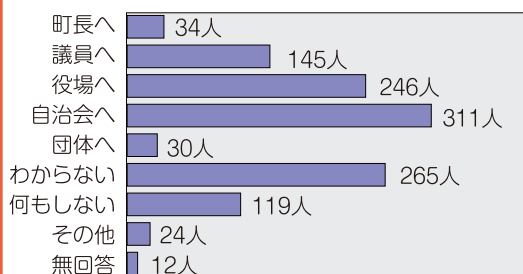
長与町議会では、平成23年9月議会で「長与町行財政対策等調査特別委員会」と「長与町議会改革等調査特別委員会」を設置しました。

両委員会とも、今日まで8回にわたり調査審議を行ってきました。今回は議会改革等調査特別委員会の審議の過程で、町民アンケート調査をお願いしました。その結果をお知らせします。

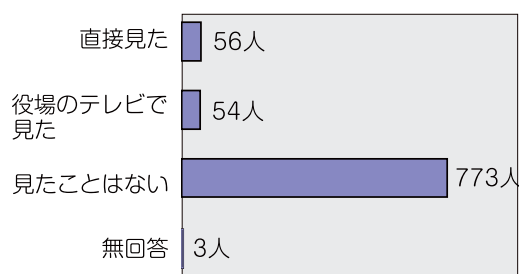
## ④ 町議会議員の活動に満足していますか。



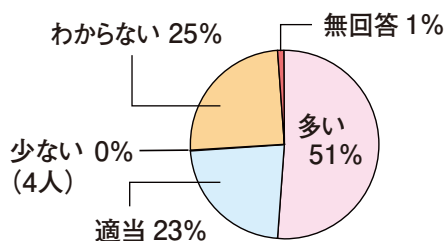
## ⑤ あなたの意見を町政に反映させたい時はどうしますか。(複数回答)



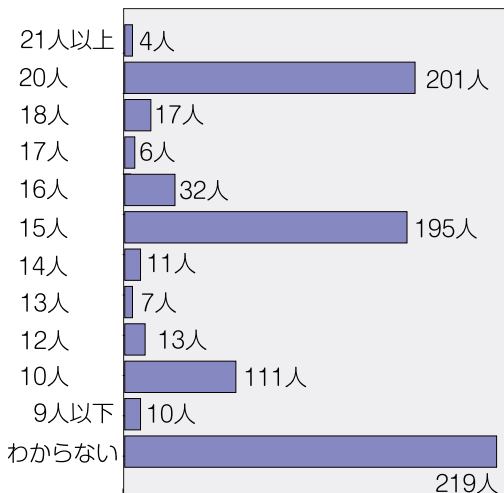
## ① 町議会や委員会の審議を見たことがありますか。(複数回答)



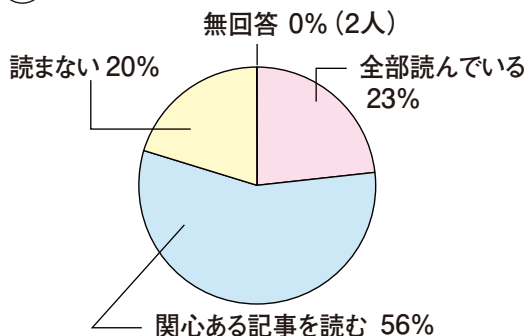
## ⑥ 町議会議員の定数は20人となっていますが、どう感じますか。



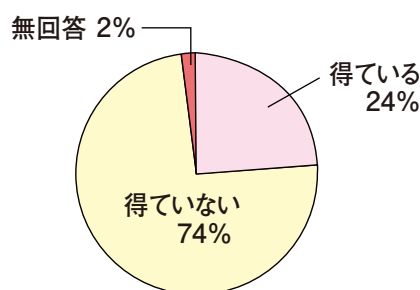
議員定数は何人が適当と思いますか。



## ② 町議会だよりを読んでいますか。



## ③ 町議会だより以外で議会に関する情報を得ていますか。



## 町議会に対する町民意識調査について

○調査方法		〈回収状況〉	
調査対象	満20歳以上の町民	発送数	2,000人
対象者数	2,000人	回収数	875人
抽出方法	無作為抽出	回収率	43.75%

〈回答者〉		年齢別	20代	8%
性別	男性	41%	30代	13%
	女性	58%	40代	15%
	無回答	1%	50代	17%
			60代	24%
			70代	23%
			無回答	0%

## その他の集計結果

### ◎議会だよりを読まない理由

知らない	41%
つまらない	18%
その他	22%
無回答	18%

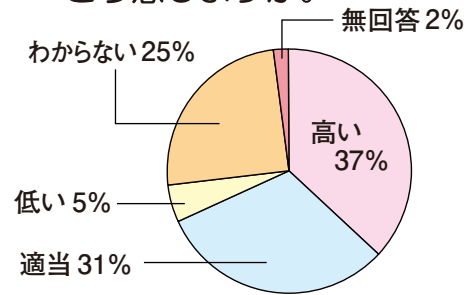
### ◎町議会選挙に行きますか

毎回行く	74%
気が向けば行く	11%
行かない	14%
無回答	1%

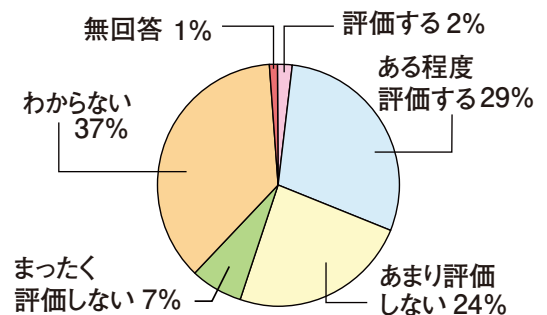
### ◎町議会に町民の声が反映されていると思いますか

反映されている	1%
ある程度反映されている	24%
あまり反映されていない	27%
反映されていない	7%
わからない	40%
無回答	1%

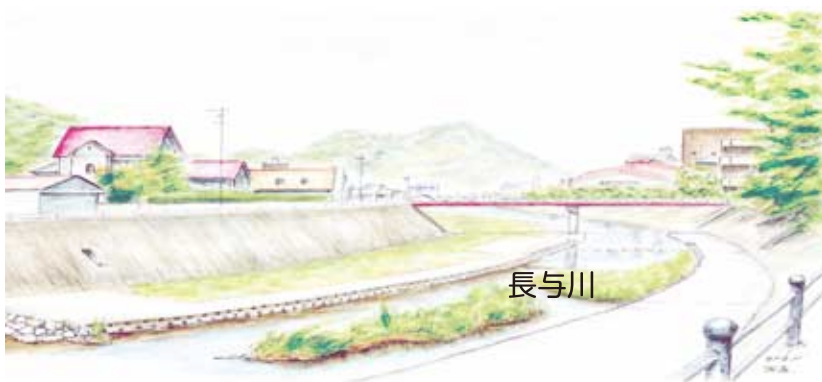
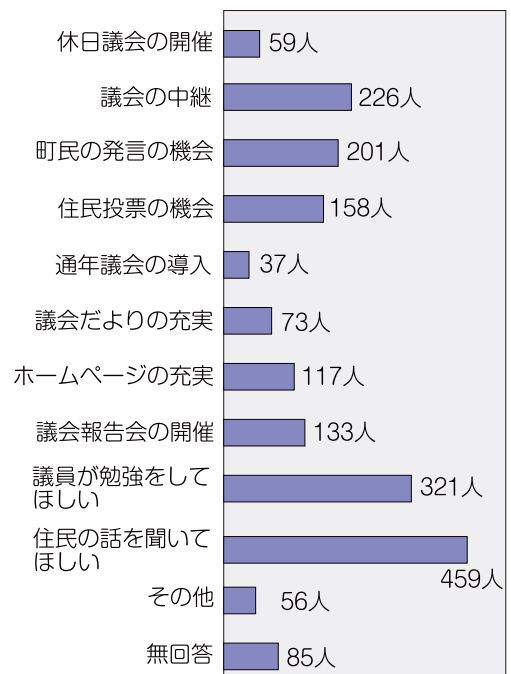
### ⑦ 町議会議員の報酬額についてどう感じますか。



### ⑧ 今の町議会を評価しますか。



### ⑨ 町議会の改革には何が必要と思いますか。 (複数回答)



\* 割合の集計については、端数処理を行っています。

一般質問は国会の予算委員会の方式で進められることを知った。議員の質問事項への取り組みの真剣度と勉強の深さがよくわかりおもしろい。是非町民各位には傍聴をおすすめしたい。

町政側の出席者の多さは異常である。議会開催中を通して36名が着席し続ける必要があるのだろうか。まず新町長にはこの半減に手をつけ、多くの課長には日々の実務に戻らせるのが町民感覚の対応である。

70代 男性

町長選挙直後の議会で緊張感があり、興味を持って聴かれた。ローカルマニフェスト時代の流れ。問題点が町民に明らかになった。ためになった。芝生広場の所で「芝生はいきもの」という表現があったが、全員がそのような気持ちになればよい。今後を見守りたい。商店街活性化、是非成功してほしい。

50代 男性

## 来てみんな



## 傍聴席から

皆様の感想は、抜粋、要約させていただきます。たくさんのご意見ありがとうございました。

はじめて来ました。町長が替ったので、所信表明を聞きに来ました。下のテレビで見たのとは違った感じでした。

70代 男性

新町長の考えまたは思いを聴きたくてまいりました。議題が山積されている中で、少ない予算をどう振り分けるかが第一の目標みたいです。真剣に勉強されているようだけど、私が思うことは、何故長与町に大型店がないのだろうか。税収入を考えて長与町を活性化させてほしいと思います。

70代 女性

新体制での取り組みを期待して傍聴しましたが、変化は感じられませんでした。「検討します」の回答が多い感じがします。確かに調査してみなければわからない箇所もあるので、前広に検討願いたい。

30代 男性

### 議長交際費 平成24年4月1日から6月25日までの総額と件数

寸志・慶祝など (各種団体総会・大会イベントなど)	128,260円 (23件)
弔慰など (生花スタンド・香典など)	28,350円 (2件)
激励カンパ	10,000円 (1件)
視察研修自治体への謝礼	29,621円 (3件)
その他 (見舞金・負担金など)	0円 (0件)
支出合計	196,231円 (29件)

## 次の定例会は 9月の予定です

傍聴をお待ちしています。

6月議会の傍聴者は  
延べ107人でした

### 編集後記

最近、自治体の首長の活発な動きをニュースで頻繁に目にする。行政運営を効率化し住民サービスの向上を目指すことが、現在の自治体の首長にとっての関心事になりつつある。

佐賀県武雄市の樋渡市長が、音楽・映像ソフトをレンタルする「T S U T A Y A」を運営する「C C C (カルチャー・コンビニエンス・クラブ)」と組んで「武雄新図書館構想」を立ち上げた。自由にお茶が飲め、日当たりのよい「マガジンストリー」にソファを置き、子ども向けのゾーンを設置し、自宅にいるかのようになりラックス空間を目指すなど、市民の生活をより豊かにする図書館の設立を推進中とのことである。

翻って本町では4月に新町長が誕生した。今度の6月議会では、新町長のマニフェストに対して多くの一般質問が出された。しかし今回の議会でも新町長が終始穏やかであったと印象を持ったのは、私だけであろうか。全国で話題になる自治体の首長はみんな個性豊かな人物である。私は「幸福度日本一のまち」を目指す吉田町長のいきこみを見てみたい。

(森)